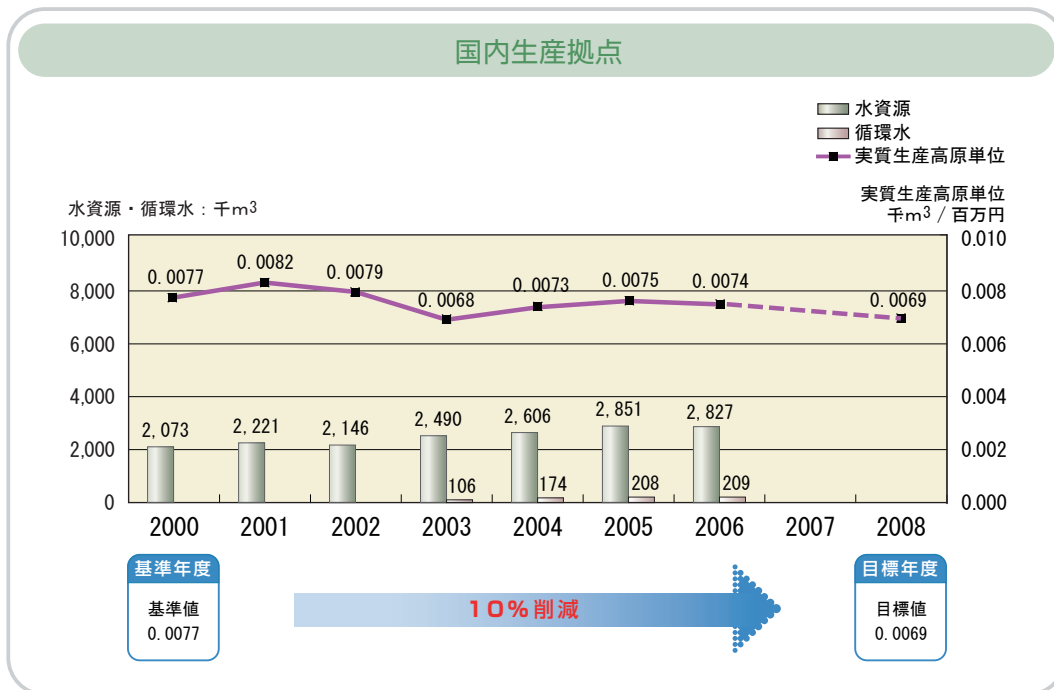
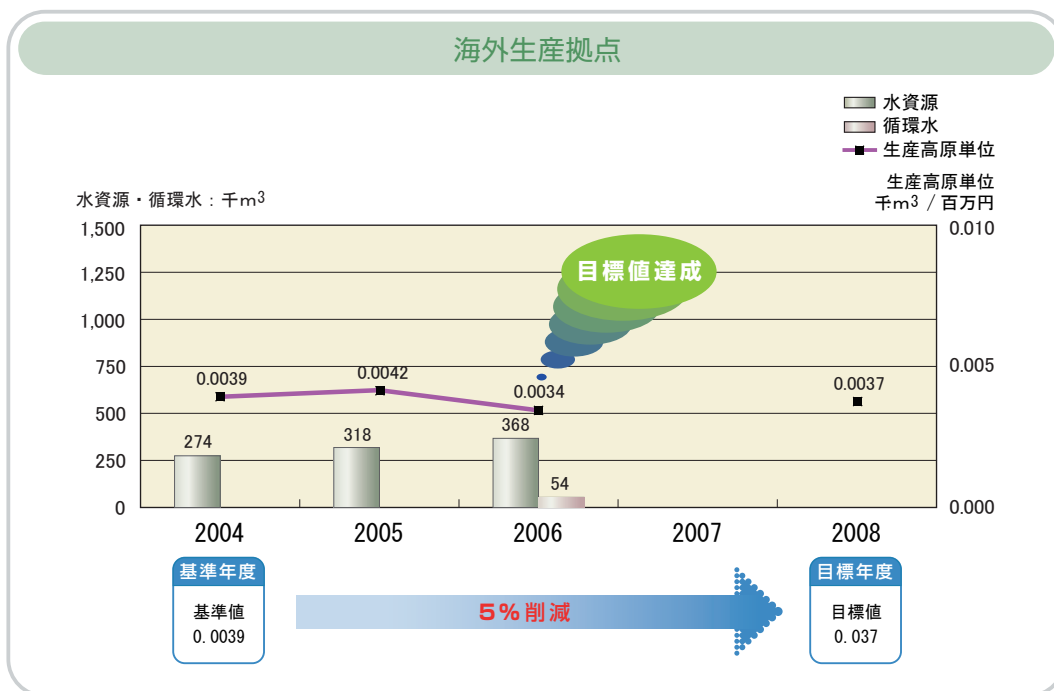


水資源・循環水利用量及び実質生産高原単位の推移(国内生産拠点)  
 水資源・循環水利用量及び生産高原単位の推移(海外生産拠点)

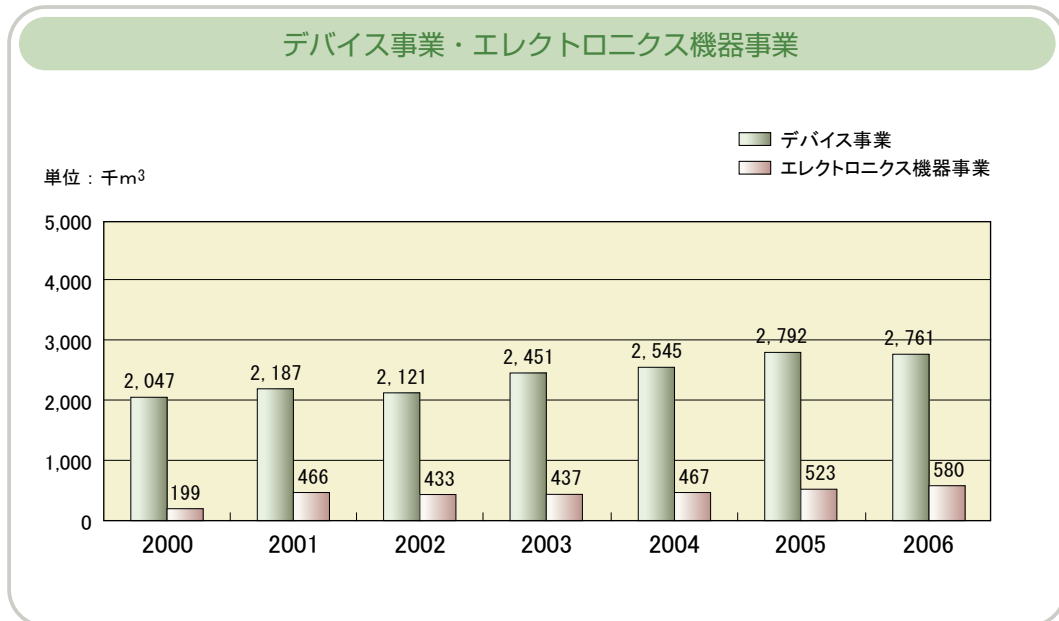


水資源利用量は2006年度は2005年度に比べて、24千m<sup>3</sup>減少しています。これは、甲府カシオ(本社)の製造ライン変更に伴う地下水利用量の削減と循環水の利用率が増加したことに起因します。



水資源利用量は生産規模が拡大するに従って、増加する傾向があります。ただし、海外生産で使用する水資源利用量は国内生産におけるそれと比較してみると、2006年度で海外 368千m<sup>3</sup>、国内 2,827千m<sup>3</sup>という数値になります。また、2006年度から循環水の利用率調査を開始しましたが、カシオ電子科技中山と香港カシオ 番禺工場で計54千m<sup>3</sup>を利用しました。生産高原単位でみると、2006年度は0.0034となり、2008年度の目標値 0.0037を達成しましたので、新しい目標値を2007年度中に策定します。

## 事業活動別 水資源利用量削減の推移



カシオの事業活動は、デバイス事業とエレクトロニクス機器事業から構成されています。  
デバイス事業とエレクトロニクス機器事業の事業活動別 水資源利用量を経年グラフで示しました。  
このグラフから、デバイス事業のほうがエレクトロニクス機器事業に比べて水資源利用量が多いことがわかります。  
これは、洗浄工程において多量の水を利用しているためです。